

タイムトラベル 荻窪時間散歩

北口駅前と戦後

画面中央が荻窪駅。駅の北側に並ぶ屋根はヤミ市から始まったマーケット（撮影：昭和22年）
国土地理院蔵

令和8年 5月16日（土）～6月28日（日）

「荻窪百点」の写真コレクションを中心に
人々の記憶を交えて昭和の街を巡ります

開館時間 午後9時～午後5時

観覧料 無料

休館日 毎週月曜日・第3木曜日
※祝休日と重なった場合は開館、翌平日休館

問い合わせ Tel 03-5347-9801

ホームページ <https://www.city.suginami.tokyo.jp/histmus/>

場所 杉並区立郷土博物館分館
西棟1階展示室

杉並区天沼3-23-1
（天沼弁天池公園内）
※車でのご来場はご遠慮ください



杉並区立郷土博物館 分館
Sugunami Historical Museum

戦後の原点「マーケット」

荻窪のまちには大きく二つの顔があります。一つは、戦後のマーケットを偲ばせる北口の商店街、もう一つは三庭園のある緑に囲まれた閑静な住宅街です。

どうして、このようなまちが生まれたのでしょうか？

本展はタウン誌「荻窪百点」を主宰した松葉襄氏が撮影・収集し続けた写真を中心に、荻窪駅北口周辺の変遷を紹介します。北口の誕生から戦後、繁華街へと発展していく過程と、現在も残る高度成長期の面影や当時の思い出話を通じ、荻窪地域への関心を高めるとともに、まちの歴史を体感できるスポットも案内します。

毎週土曜日 14時～16時

実施団体の有志が、会場で質問にお答えします！



新興マーケット（昭和40年代）
写真提供：荻窪今昔研究所



東信水産（昭和40年代）
写真提供：荻窪今昔研究所



バナナのたたき売り（昭和40年代）
写真提供：荻窪今昔研究所



飯田青果と九州屋かまぼこ店（昭和40年代）
写真提供：荻窪今昔研究所

荻窪時間散歩
北口駅前と戦後

アクセス

〒167-0032 杉並区天沼 3-23-1
(天沼弁天池公園内)

